

**取材  
報告**

～ **皆の幸せを自分の幸せに。  
自分の幸せを皆の幸せに。** ～  
**あそびすと 古賀めぐみさん**



学生時代から児童会・生徒会・大学祭実行委員などたくさんさんの活動をされてきた古賀さん。

現在は、4人のお子さんを持つお母さんです。

いつも笑顔な古賀さんに「幸せのヒント」を教えていただきました。



**【テーマ・キーワード】**

こども・つながり・交流

団体名	あそびすと	設立	2年前
問合せ先	古賀めぐみさん	会員数	11名
主な活動場所	長久手市内		
主な活動内容	子ども達が主体的にボランティア活動を行う。		
その他（備考）	企画から参加するプロジェクト会員、イベント情報が届くメール会員どちらも募集中。		
ホームページ	-	連絡先	090-9336-0654

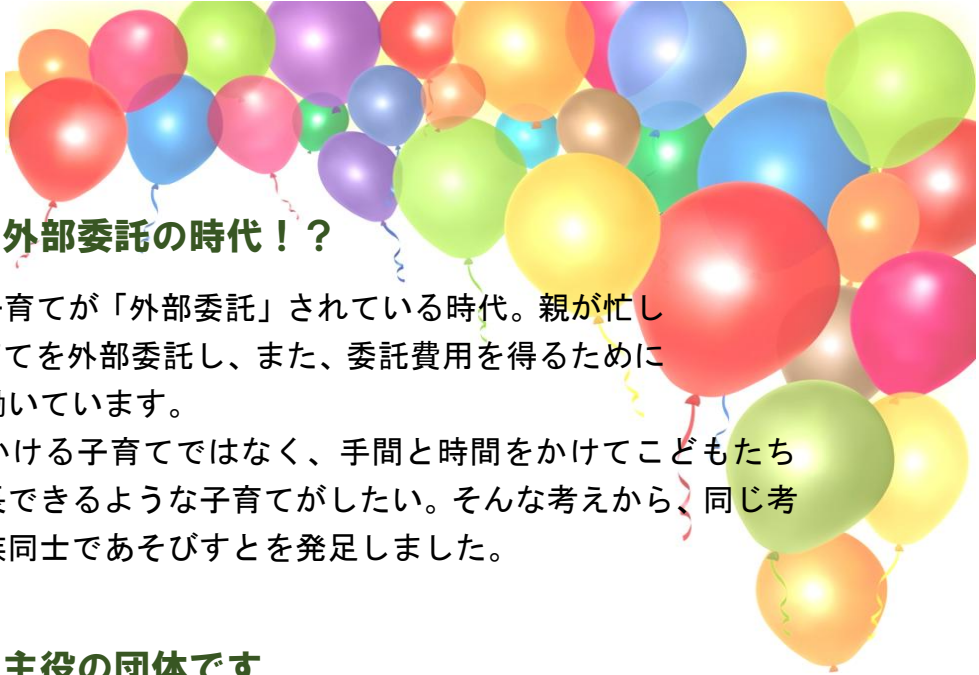
**■こどもも地域の一員！**

**—あそびすとを始めたきっかけは？**

引っ越した先にこども会がなかったのが一番のきっかけです。

こども会は、こどもも、忙しいし、  
入る人が少ないため減少の傾向にあります。  
ないなら作ってしまおう。それも、お母さんが主体でこどもがお客さんのこども会ではなく、こどもも地域の一員であるとこどもたち自身わかるような、こども自身が考えて、作っていく集まりを作ろう！





## ■子育ての外部委託の時代！？

現在は、子育てが「外部委託」されている時代。親が忙しいから、子育てを外部委託し、また、委託費用を得るためにさらに親が働いています。

お金だけにかかる子育てではなく、手間と時間をかけて子どもたちが幸せに成長できるような子育てがしたい。そんな考えから、同じ考えを持つ家族同士であそびすとを発足しました。

## ■こどもが主役の団体です

—あそびすととはどういう団体ですか？

子どもたちが主体となって行っているボランティアサークルです。活動内容は、お楽しみイベント、老人ホームへの慰問、挨拶運動、清掃活動、市民まつりへの参加などで子どもたちが主体となって内容を決め、進行及び計画を行っていきます。中学生になったら各施設等との打ち合わせも積極的に子どもたちがする予定です。プロジェクトメンバーは4家族！発足からメンバーは頼もしく成長しました。

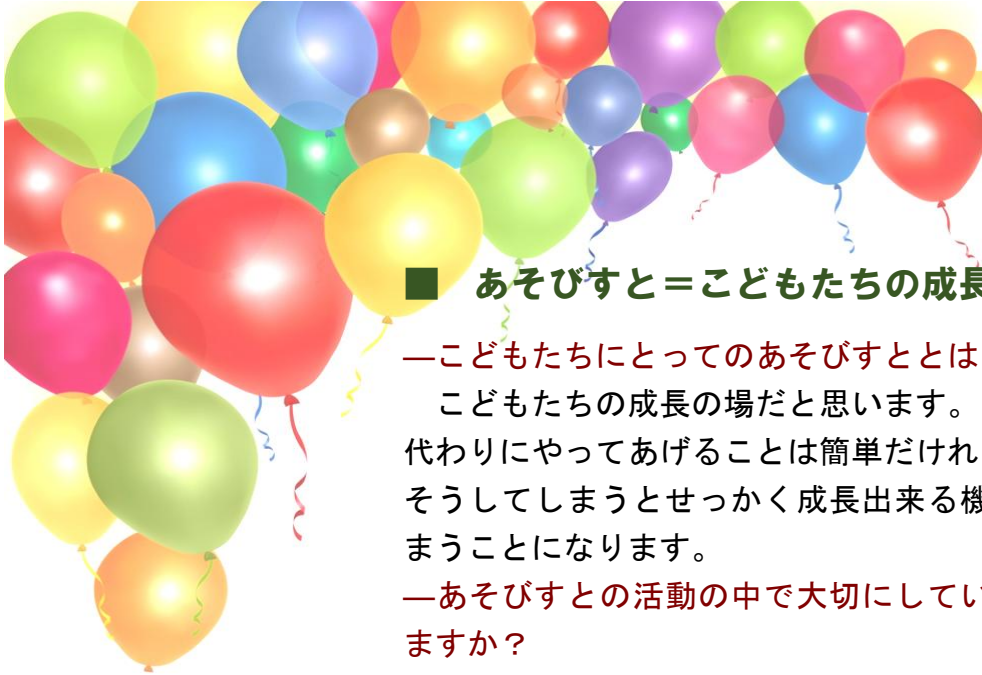


## ■ 同じ志を持っていれば、仲間は自然と集まる



—一人集めの工夫を教えてください

誘うのではなく地域の繋がりについて「こんな風だといいな」という理想をみんなで話していたりすると、自然と同じ志を持った方たちが集まってくるように感じます。一生懸命勧誘をしようとする、逆にうまくいかないこともあったり…。また、子どもたちが友だちを誘い、輪が広がって行くこともあります。



## ■ あそびすと=こどもたちの成長の場

—こどもたちにとってのあそびすととは？

こどもたちの成長の場だと思います。  
代わりにやってあげるとは簡単だけれど、  
そうしてしまうとせっかく成長出来る機会を奪ってしまふことになります。

—あそびすとの活動の中で大切にしていることはありますか？

こどものアイデア・意見を否定しないことです。あそびすとでは、大人は大まかなアドバイスはするけれども、それ以外はこどもたちに全て任せています。そういった経験の中で得られる失敗もとても大切だと思っています。イベントをすることが目的ではないんです。イベントを通して人との付き合い方などを学んでほしいです。



## ■ 『皆』で成長できる機会を作ることが、わが子への愛の形。

—活動を行う理由とは？

活動する一番の理由はわが子への愛です。私もこどもたちも私たち家族だけで生きている訳ではありません。

皆に支えられて生きています。もしその中でより成長して行こうと思ったら、自分のこどもだけでなくまわりも一緒に成長していく必要があると思います。

そんな風に皆で成長できる活動がこのあそびすとだと思います。

みつけた、幸せのかけら！

## 私は楽しい が みんなの楽しい に！

楽しそうなこと・楽しそうな人のまわりに人は集まります。まずは自分が楽しい！と思うことが幸せな居場所づくりの第1歩です。

## 同じ志を持った仲間がいること！

「こんな風だといいな」という理想をみんなで話しあえる仲間がいることで理想を形にするためのグループを作ったり、実際の活動をしたりすることができます。

## 必要とされてると感じることに！

必要とされていると自分が感じることに繋がります。「自分はここに居ていい」と思える場があること。



そして、そのような居場所は誰かに作ってもらうわけではなく、**自分で作る事が出来る**のです

### 編集後記

手作りのお弁当を持ったお子さんと二人でお会いしました。

自然体の小さな身体から、溢れる思い。柔らかいけど、強い。お話を聞いて、久しぶりに子育ての原点を見た気がしました。我が子への愛情、ポリシーはあるが、強制はしない母の強さ。物質的な豊かさを追い求める風潮の中、お金ではなく、こどもに手間と愛情をかけて、じっくりと楽しく子育てをされる古賀さん。親子の姿をみているだけで、心温まる幸せな時間でした。

自分のこどもへの愛情から、始まった、あそびすとの活動は、少しずつ誰かの居場所となり、誰かが幸せを感じられる時間になっていることでしょう。

取材データ ■日時：平成27年12月10日（木）

■場所：まちづくりセンター

■担当：Dチーム

(たまちゃん、かずちゃん、わかちゃん、  
さやか、あきちゃん)

